

2週間ほどアメリカに講演旅行に行っていて、昨日の夕方、帰って来たばかりです。向こうで、いく人かの方々にやってほしいと頼まれたので、3秒だけ私に下さい。「ロサンゼルスの皆さん、ベルビューの皆さん、シアトルの皆さん、ポートランドの皆さん、ユージーンの皆さん、見てますか？」以上です。

アメリカですごい人気のハンバーガー店 “In-N-Out Burger”、ここのオーナーがクリスチャンで、コップの裏側や、フライドポテトの紙皿の端っこに聖書の言葉が印刷されていますが、裏返して初めて見える。「クリスチャンなら、もっと堂々と出せば」と言ったら、アメリカの広告条例があって、自分の信仰を他人に押し付けるなど。たとえオーナーでも、目立たないように書かないと駄目だそうです。アメリカも随分窮屈になって来たなと思いました。

ところで、そのハンバーガー店がなぜそんなに人気なのか？ 聖書の言葉が書いてあるからではないんですね。非常に健康に気を遣っていて、全部オーガニックだそうです、つまり「このハンバーガーはジャンクフードではなく、あなたの健康に必ずプラスになる。」体に良いものを提供する・いいものを出す会社という事で人気なんです。

アメリカで今「健康に良くない」というレッテルを貼られたら、どんな大企業でも駄目になります。その代表がコカ・コーラ。今コカ・コーラ全然売れない。莫大な費用を投じて宣伝しているけど売れない。「砂糖は体に悪い」というイメージがビシッと付いているから。それで、砂糖に代わって人工甘味料のコーラを作ったけど、人工甘味料は砂糖よりもっと悪いと叩かれて全然売れない。

そこで去年 51 億ドルかけて、イギリスのある企業、確かコスタ・コーヒーを買収しました。コスタ・コーヒーは日本にまだ上陸してないので、あまり知らないと思いますが、スターバックスに次いで世界で 2 番目に大きいコーヒーチェーン店です。なぜ、世界最大の炭酸飲料の会社がコーヒーチェーン店を買収するのか？ アメリカではコーヒーは健康に良いというイメージだから。毎日コーヒー3杯飲んでいる人は、鬱病発生率がガクンと下がるというエビデンスが出ているそうです。

それ聞いて、すぐにムチャクチャやらんとして下さいね。すぐにやる人いてるから。とにかく、人々に愛されなくなったら、どんな大企業の有名ブランドのヒット商品でも売れなくなる。愛されない商品はダメなんです。

日本のお菓子の有名メーカーのカルビー。お菓子は体に悪いというイメージを付けられたら生き残っていけないので、体にいい物の代表であるカルシウムとビタミンを合体させてカルビーにしました。果たして、そういう物が入っているか知りませんが、うちの商品はそんなに体に悪いものではないと。

代表商品の“じゃがりこ”。「じゃがりこ、じゃがりこじゃがりこじゃがりこ！」知らん？ 知ってるやんね。売り出す前に、まず試作品を色々な人に食べてもらって、美味しいか、評判いいかモニターし、マーケットリサーチをします。で、これを作った方の親友が、それはもう美味しそうに、じゃがじゃが食べる。その人の名前が“りかこ”。じゃがいものお菓子を美味しそうに食べるりかこ。略して“じゃがりこ”自分が手塩にかけて作り上げた作品を愛しているんですよ。愛しているのと、親友がすごく高い評価

をしてくれたというので、いい名前をつけて愛されますようにと。

市場経済でも何でも、ポイントは愛です。愛を提供しなかったり、また愛されなかったりする物は、市場経済の中で生き残って行く事はできません。物ですらそうであるなら、ましてや人格ある人間は、愛されなかったら、本当に人間らしく生きて行く事はできないんじゃないですか？

私が1歳8か月の時に父が死にました。だから父の思い出はゼロ。一つも覚えてない。皆さん、1歳の時の記憶ありますか？三島由紀夫は産湯浸かった時のたらいの模様覚えてる。ホンマか？普通の人は1歳・2歳の記憶はないと思いますよ。

私は父の事を一生懸命思い出そうとしても覚えてない。でもね、何か愛を感じる。というのは、父が私にたった1つ、形見を残してくれたから。それは名前です。私の名前、剛一郎。強くてナンバーワンの男の中の男って、自分で言うても…言い過ぎやんけ!みたいな。1人でナニゆうてんねん!みたいなね。これ、自分がつけたんじゃない。親父が付けてくれたんです。

なぜこんな欲張りな名前を付けたのか？私に兄がいたのですが、赤ちゃんの時に死にました。父はその事を非常に惜しんで、傷んで、悲しんだ。それで、次に産まれて来る男の子は、強い、男の中の男でありますようにという、私に対する並々ならぬ愛情が名前の中に残ったんです。私は父の顔も声も、連れて行ってくれた事も何も覚えてないんですが、この名前1つで、何となく産まれて来て良かったとすら思うのです。

愛してくれた人がいた。私は愛されて育てられた。産まれて来る時に歓迎する人がいた。紛れもなく親に愛された。この愛されたという事を思い返したり、イメージしたり、言い聞かせたりしていると、生きる勇気が湧いて来る。やる気が出て来る。

中には、親から愛された経験がないとか、誰にも愛されてないという方がおられるかもしれませんが。だけど、あなたを本当に愛しておられる方が1人おられます。少なくとも1人以上おられる。それは、あなたを造った創造主なる神。今日は神様の愛について一緒に考えましょう。

Iヨハネ4:7-10 愛する者たち。私たちは互いに愛し合しましょう。愛は神から出ているのです。愛がある者はみな神から生まれ、神を知っています。愛のない者は神を知りません。神は愛だからです。神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって 私たちにいのちを得させてくださいました。それによって 神の愛が私たちに示されたのです。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥め(なだめ)のささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。

今日はこの箇所から、3つのポイントで考えて行きたいと思います。

1) 神は罪人をも愛しておられる。

神とは人が作った神ではなく、人をお造りになった方。今日のテーマは「イエス・キリストによって現された創造主の愛」。「神の愛」と敢えて言わずに「創造主の愛」。聖書が語る神様は、人間の宗教心がこしらえた神々とは違います。人をお造りになった方。あなたの第一原因者であられる方。あなたの魂の親である創造主が神様。私たちの過去にどんな事があっても、神は愛しておられるのです。

プロ野球の元監督の野村さんが『ありがとうを言えなくて』という本を書きましたが、その本とインタビューを読んで考えさせられました。野村さんの奥さん、野村沙知代(のむら さちよ/1932-2017)さん。

今から2年前の年末、それまでピンピンしてたのですが、ちょっと体調を崩しました。家政婦が野村さんに「奥様の調子がおかしいです」と言ったので、部屋に様子を見に行ったら、おでこをテーブルにくっつけている。「どうした、大丈夫か?」「うん、大丈夫よ。」これが最後の言葉。心不全でした。何の前兆もなかった。すぐに救急車を呼んで担架に乗せた時には、もう息をしてませんでした。愛する奥さんを突然亡くす。心の準備がないままに、長年連れ添った奥さんを亡くした喪失感は、経験した者でないと分からない。

野村さんと沙知代さんの出会いは、原宿かどこかの高級中華料理屋さんで、そのマダムが紹介したと。当時の野村さんは選手兼監督。南海ホークス。月見草。マダムが沙知代さんに「こちら、野村監督」と言ったら「どこの現場の監督?」工事現場の監督みたいな。「何を言っているの。この方、プロ野球の監督よ。」「あ、そう。ちょっと待って。」ダンとケニーという2人の息子が野球少年だったので、すぐ電話して「あなた達、野村監督って知ってる?」「ママ、すごい人だよ。」「分かった。」プチッと切って話を始めました。

沙知代さん、すごいクセがある人。知ってはいますか? 長男のダンさんは、ひと目でハーフと分かる顔たちです。可愛らしかったから、自分の子にしたいと思って孤児院から引き取ったと。次男はいかにも日本人の顔。ある有名デパートの御曹司との間に生まれた子やと。嘘です。2人とも自分の子ですよ。でも、国際結婚したのを言うのが嫌だったからそう言った。お付き合いが始まって「お子さんに会いたいんだけど、どうしてるの?」「妹が代わりに育ててくれる。」嘘です。前の亭主が引き取っているんですよ。

「わたくし、コロンビア大学出てるんだけど。」嘘です。根も葉もない真っ赤なウソ。それが嘘だと分かって「コロンビア大学じゃないじゃないか」と言ったら「あなたに関係ないでしょ。」それでおしまい。僕、こういう人、無理です。

一番困ったのは、野村さんが南海の監督時代、選手に直接言うたらあかん事を、沙知代さんがベラベラ言うてた。野村監督はぼやくんです。ボヤキの監督。家で「アイツは時々さぼるところがあるなあ」と、奥さんが相手だからこそボソッとつぶやく。そしたら沙知代さんがチームに行って、「ちょっとアンタ! サボってるそうだね。」言うたらあかん事、選手に直接言われへんから、家の中で奥さんにのみ聞かせている事を全部言うてる。

そんな事とは露知らず、チームのムードがどんどん悪くなって、ガタガタになって来た。で、全部奥さんのせいだというのが分かり、それが球団オーナーの耳に入りました。「うちのチームが急に弱なったんは、あんたの奥さんのせいやで。なんちゅう女や。」そして、野村監督に二者択一を突き付けます。「奥さんと別れるか、南海ホークス辞めるか、どっちか選べ!」。即決で奥さん選んだ。ホークス辞めた。なんで?「惚れた弱みや。」なんで惚れるんかなと。ちょっと、僕分からへん。ほんまに。

それで「何とかなるわよ」と関西球団を後にして東京に行きました。そしてヤクルトに拾われ、野村監督がヤクルトの監督になった時から、ヤクルト黄金時代の始まり。古田。リーグ優勝から日本一になって連続優勝。当然、莫大な報酬が野村さんの懐にドバドバ入って来るけど、金銭は全部奥さんに任せていて何にも知らない。どれだけ入っているのか全く分からない。

奥さん、どうしましたか? 脱税したんです。ある時国税局が入って、野村さんも尋問。最後に係官が「ほんまに、何も知りはらへんのですねえ。」奥さんがたった1人で巨額の脱税やってた。評判は地に落ちる。それなのに、彼女が好きで好きでたまらないと。

その理由を聞いたら「職業やお金はいくらでも世の中にあって、稼ぎ直す事ができるけど、野村沙知代という女性は世界にたった1人しかいない。」言うてみ。言われてみたい？ 言われてるねんね。

不思議や。よその奥さんの事を何回も言って失礼ですが、僕、こういう女の人、絶対無理です。結婚相手として、絶対あり得ない。と言う前に、彼女の方から「あんたやったら、あり得ない。」私にそんな事を言う資格はないのですが、殆ど多くの男性にとって、こういう女性はちょっと無理。野村監督ともあろう方が「彼女でないとダメ!」という事が、訳分からない。でも聖書には、もっと訳分からん事が書いてあるんです。「神は罪人を愛してる。」

Iヨハネ 4:10 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、

私たちはどういう人を愛するか？ 自分を愛してくれる人。自分にとって価値があると思われる人。自分にとって価値なしと思うと愛さないでしょ？ 誰かを好きになる理由は可愛い・美人・お金持ち・誠実・才能・リーダーシップなど、何か自分にはないものを持っているところを見つけて、それが好き。そして、そのいいところがなくなったら、裏切られたとか何とか言って、捨てるんとかやいますか？

神様は罪人を愛するんです。私たちが神を愛したんじゃない。もっと言えば、神を憎んだ。神なんか要らないと言って、うそぶいて生きている人間を神は愛しています。

なぜ、そのように愛する事ができるのか答えがあります。私たちが素晴らしいからではありません。神は愛だから。愛からは愛以外の事は出て来ないんです。神は愛だから、神からは愛以外のものは出て来ない。

実は、悪魔が最も隠したい真理がこれです。悪魔は「神は人間なんか愛してない。あなたの事なんか愛してない。むしろ怒っている。憎んでいる。呪っている」と思い込ませようと、ずっと努力して来ました。全部、嘘ですよ。「神は愛だ」と聖書に書いてある。

なぜ愛するのですか？ 神は愛だから。God loves you, because God is love. 誰かに気に入られようと思ったら、素の自分じゃなく、良く見せようと思って背伸びするでしょ。愛されるために背伸びしなくていい。

アメリカ、皆でかい。ほんまに。アメリカに住んでる日本人もでかくなります。集合写真で、両側に男性がバーン！ 私ひしゃげそうになってる。でかくなる食べ物を食べてるんです。あのう…、何を言おうと思ってたか忘れちゃった。今、体は寝てる時間。とにかく、神は皆さんを愛している。これさえ残ったらいいです。あと全部忘れてもらっても結構ですよ。

2) 神があなたを愛している事を、どうやって信じる事ができるのか？ 証拠はどこにあるのか？ 何を根拠にそう言う事ができるのか？

Iヨハネ 4:9 神はそのひとり子を世に遣わし、

ひとり子とはイエス・キリストです。神のひとり子を人としてこの世界に住ませた。遣わした。神なのに、人となった神がおられる。イエス・キリストはただの人間ではなく、人となった神。私たちと同じ肉体を持ち、弱さを感じ、食べなければ飢え、飲まなければ渴き、眠らなければ疲れる体を持って、この世界に来て下さった。あなたのそばにいて、あなたを我が事のように理解するために、またあなた自身を経験するために、人としてこの世界に来て下さったんです。

最後にオレゴン州のユージーンという所に行きました。その教会の責任者のお名前がユージ。最初シャレかなと思って、ユージさんがいるからユージーンと言っているのかなと。いや、地名だと。アメリカにユージーンという所があるとは知らなかった。

そこで若者たちと一緒にバーベキューをやりました。アメリカ人はバーベキューがめちゃくちゃ好き。留学生が4人いて、4人共めっちゃ可愛いねん。もう、舐めたいくらい。1人は青森山田高校出身。卓球の愛ちゃんの高校ですよ。今アメリカの大学の野球部で3割5分打っている。スゴイ体格だけど、チームで下から2番目と言っていました。阪大中退の子とか女の子とか、もう可愛くて、もっと聖書を教えてあげたいという気持ちにさせる。

「ユージーンの名物は何やねん？」ユージーンはヒッピーのメッカだと。ヒッピー、分かります？「自然に帰れ！」「あらゆる束縛から離れる！」と言って、時々全裸で自転車に乗ってますと。全て人工のものから解放されたい。男も女も全裸で自転車に乗っているのですが、安全のためにヘルメットだけかぶってますって。頭隠して尻隠さずとはこの事や！「ホンマか？」「ホンマですよ。」「今でもおるんか？」「おりますよ。」「ちょっと見に行きたい。」全裸のヒッピーを求めて。事の顛末は後で言います。くだらんから時間があつたら。

ユージーンには日本人が殆ど住んでません。殆ど白人の町。田舎町で、人がいいんです。ここに、ブートコーヒーという有名なコーヒーの店があります。ブートって聞いたら運動を思い出す。ブートキャンプのDVD、昔買った事があるんです。1週間で除隊しましたけど。

ブートコーヒー、初めて行った人はタダだと。「僕の時はそうでした。」「俺が行ったらタダ？」「タダになりますよ。高原さん、行くべきですよ。ユーチューバーやから。」ユーチューバーはそういう体験をアップする。その路線とちゃうねんけど。みんなノリでゾロゾロついて来て、スマホ7-8台、ズラッと動画を撮ってるんです。

ホットコーヒー注文して「実は俺、日本から来たんや。」「それで？」…それでって…「俺、この店に来たの初めて。」「だから？」「タダにしてよ。」「モチロン！」その時拍手が起こったんですけど、すごい恥ずかしかったです。ええ歳こいた大人が大学生にのせられて、コーヒーただで飲んで、これから全裸のヒッピー捜し。そんなのがアップされたら、もうどこからも呼んでももらえないんじゃないかと思って、すごく心配です。

他に名物はないか聞いたら「夏目漱石の孫が住んでいた。」夏目漱石の孫！でも、夏目漱石にしか興味がない。あれこれ言ってくれた中で、ピーンと引っかかったのが1つありました。

ユージーンから車でちょっと行った目と鼻の先に、ブラウンビルという所があります。映画『スタンドバイミー』のロケ地。(指パッチンでスタンドバイミーのイントロ♪) 誰か止めて下さいよ。あの映画、めっちゃ好き。一定の年齢以上の人たちは「そこがロケ地って知らなかった！明日行こ行こ！」

でも大学生たちは「えっ、スタンドバイミー？ 何で？ ドラえもん？」若者にとってのスタンドバイミーは、『STAND BY ME ドラえもん』という映画なんです。同じ単語を使っているけど、ものすごいギャップ。(指パッチンでスタンドバイミーのイントロ♪) これしてる時、「何してんの？この人。そんなん、ドラえもんに出てけえへんし」みたいな。

私が言っているのはドラえもんじゃなくて、80年代半ばに上映された『スタンドバイミー』。

この映画はアクションとか殆どなくて、池に入って蛭に吸われるとか、後ろから電車で轢かれそうになるくらいの話で、それはそれですごい事だけ。

4人の少年の物語です。4人共、心に傷がある。彼らは、電車で轢かれた死体が森の中に置きっぱなしになっているという噂を聞きました。それを見つけて第一発見者になったら英雄になれるんじゃないか。12歳の少年の心ですよ。分かるなあ。有名になりたいねん。スゴイって言われたい。それで見つけに行く。

気の弱そうなゴードィと正義感の強いクリスが、他の2人が寝ている間、夜中に見張りをします。そこで2人きりになって、人生を語り合います。

ゴードィには、とても出来のいいお兄さんがいました。両親はお兄さんを非常に可愛がり、期待し、溺愛していたけど事故で亡くなった。親は「あの子が死んで、もう希望がない。生きてくれたら、生き返ってくれたら、どんなにいいか!」。目の前に弟の自分がいるのに、親の目に入っていない。

親は死んでしまった兄さんの事ばかり言う。「俺は親に愛されてないなあ。」そして、親の悲しみを見て「俺が死んでいたら、こんなに悲しまずにすんだのに。何で俺が生きてんねん? 何で俺は生まれてきたんや?!」持たなくてもいい罪悪感で苦しんでいる。そして詩を詠みます。

そしたらクリスに「君の歳でこんな文章書ける少年、おらんぞ。絶対文才があるから、頑張ったら作家でも小説家でもなれる!」と励まされた。自分が一番誇れる・得意だとかろうじて思える事を、自分以外の人が絶賛してくれる事によって、何とも言えない慰めを覚えるんです。

クリスは父親がアル中で、家族として機能していないような悲惨な家庭の子ですが、正義感が強くて、いじめられてたら「やめとけ!」と跳びかかって行く。それで上級生たちに睨まれるというのを繰り返しています。その夜「先生が私利私欲で俺を利用したんや! こんな事されて悔しい!」と、教師にされたある事をゴードィに告白しました。

「そんなに悔しいのは、お前自身気がついてないけど、人一倍正義感が強いからやと思うで。そんなに清い、まっすぐな正義感を持つてるのはすごい事や。頭脳明晰のお前なら、努力したら絶対何にでもなれるから、大学進学頑張れよ!」

傷ついている者同士が、告白し合いながら励まし合う。スタンドバイミーとは「僕のそばにいて下さい」という意味です。家の中で、学校の中で、彼らのそばに立つ者は誰もいない。だけど苦難の中で、友が自分のそばに立って応援してくれる。

映画の前に、既にスタンドバイミーの歌が出来ていました。

『夜が来て、闇が支配して、漆黒の闇の中にも、僕は恐れない。怖くない。全然怖くない、闇が。ただ、君がそばにいてくれたら。見上げているこの空が落ち、自然界の全ての山々が落ちて来て、海の中に入ったとしても、僕は泣かない。涙一滴流さない。君が僕のそばにいてくれたら。』

友ってありがたいものですよ。自分が一番しんどい時に駆け寄ってくれる、そんな友がいたらどんなにいいだろう。スタンドバイミーの元々の歌詞はゴスペルです。この間の区民ホールでの公演（#144）の時に、那須さんがその解説をなさってましたね。

先ほどの聖書箇所、なぜ神様が私たちが愛していると言えるのか?

Iヨハネ 4:9 神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって 私たちにいのちを得させてくださいました。それによって 神の愛が私たちに示されたのです。

世は神に反逆している私たちの事です。「神なんか要らんわ!」と神様から遠く離れている人間を裁くためではなく、人間のそばに立って弁護するため、執り成すため、一緒に笑ったり泣いたりするため、スタンドバイミーするために、キリストが人となってこの世界に来て下さった。

「この一点によって、神の愛が示されているではありませんか」と言うのです。

3) 神はひとり子イエス・キリストのいのちを、あの十字架の上で捨てさせる事によって、私たちに対する愛を明らかにしてくれました。

昔読んだ本ですが、ある宣教師の証しで、今でもよく覚えています。

彼はイギリスの宣教師で、日本で大変用いられた方ですが、お父さんが働かなくて貧しい。お母さんが働かないで食べさせているかという万引き。親が万引きするだけじゃなくて、子供にも万引きさせる。お母さんが見張っている間に「スーパーマーケットで食料品盗って来い」と。本来尊敬すべきお母さんが、誰が見ても犯罪になる事を子供にそそのかして。やらせて。それをせえへんかったら生きて行かれへんという無茶苦茶な家。キリストも聖書も何もないという所でした。

ある教会に、イギリスなのでスポーツと言えばサッカーですが、サッカーを教えてくれる、一緒にサッカーをやって楽しむというユースの働きがありました。その中に1人、サッカーも上手いけど、とにかく爽やか、愛されている事を全身で表している、キリスト大好きのも、ものすごく魅力的な青年がいました。

ある時バーベキューをやって、「1人で片付けるの大変やから手伝って。」「いいよ。」

片付け終わったら「家まで運ぶから、車に載せるの手伝って。」「いいよ。」

家の前まで来たら「中に入れるの手伝って。」「いいよ。」

家の中に入ったら「お茶でも飲んで行けよ。」「あ、罨にかかった!」みたいな。「俺に聖書の話するために、こういう風にやったんや。」

その時に話されたのは「君、サッカー好きやな。」「好きだよ。」「君が友達と一緒に歩いている時、すごく愛して、尊敬しているサッカー選手のポスターが道の向こう側に貼ってあるのを見て、『ええなあ。見たい』と、トラックが走って来ているのに気づかずに飛び出した。隣にいた友人がトラックに気付き、危機を察知して君をブワッと連れ戻したがために、トラックに巻き込まれて死んでしまった。その子のお葬式で、君は彼のお父さんに挨拶しなければならない。どう言う?」

よく考えたそうです。そして「すみません 50%、ありがとう 50%だと思います。僕が不注意であんな風に飛び出さなかったら、その子は死んでないに違いない。だから、本当にごめんなさいの気持ちが 50%。そして、僕のために死んでくれたという事は、ただごめんなさいじゃなくて、本当にありがとうも 50%。どっちか1つじゃなくて両方です。」

「そうか。その答えを聞いたお父さんがこう言ったらどうする?『息子はいつも君のことを自慢し、いい友達ができたと喜んでいて。だから君の命を助ける事ができて、後悔していない。本望だと思っていると私は思うよ。私はそう信じる。』一人息子を亡くしたお父さんにそう言われたら、君は何て言う?」

胸が詰まりながら考えて、こう言ったそうです。「あなたの死んだ息子さんに代わって、僕をあなたの息子にして下さい。」

それを聞いたユースの青年は「素晴らしい答えだよ。実は神様はそれ以上の事をして下さった。君自身は気がついてないかもしれないけど、君に向かって、罪の裁きというダンプカーが、今突進している最中なんだ。だけどキリストは、君が罪の裁きで轢き殺される前に、君と裁きの間に立ちふさがって十字架にかかり、ご自分の身の上に裁きの一撃を引き受けて下さった。君を生かすために、強制されてではなく、自ら進んで死を選び、命をもって、君の罪の償いを完成して命を与えて下さった。それだけではなく、墓に葬られ、3日目に復活されて、今生きておられる。そのキリストに向かって、同じ事を言えるかい？」

「言えます。僕をイエス・キリストの血潮で赦して下さいました事を感謝します。キリストによって、神の子供にして下さい。」それが、彼のクリスチャン生活の始まりでした。

I ヨハネ 4:10 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。

これを書いた人はヨハネ。彼はキリストの12弟子の中で1人だけ、イエス・キリストの十字架の現場に立ち、十字架にかかったイエスと会話をした人です。

正しい事しかせず、親切で気前よく、愛そのものであったイエス・キリストが十字架にかけられた。それを決定した裁判はでっちあげでした。「こんな正しい方をでっちあげ裁判で処刑する人間を、神がそのまま放置するはずがない。キリストを十字架にかけたような人間は、神が滅ぼしてしまうに違いない。」その奇跡を待望しながら、ずっと十字架を見ていたんです。

だけど、とうとう何も起こらず、イエスは息を引き取られた。その時「正義が悪に負けた。正しい方が世の権力者に葬り去られてしまった。イエスは敗北したのか…」と一瞬思いました。

しかし、後に聖霊が下った時、分かったんですね。「負けたんじゃない。十字架は敗北のシンボルではない。ここに神の愛が表されているんだ。キリストが体を張って、私の罪を赦すために十字架にかかって下さったのは、神の愛がいかに表される事だったんだ。」ここに（神の）愛があるのです。

ユージーン教会で聖書の話の後、質疑応答の時間を持ちました。「聖書の事で何か質問ありませんか？」最初の質問が「左肩の調子はどうですか？」聖書と直接関係ないけど、これは賢い質問だと思います。最初からレベルの高い質問したら、2番目以降の人は委縮して質問できなくなります。だからわざと「肩の調子どうですか？」すごくいいです。（左腕を大きく回す）スゴイ！痛みたいいな。いいですねえ。

2番目の人が「クリスチャンは禁欲生活を強いられるみたいで、苦しそうに見えるんですが。」それは“くるしいちゃん”。クリスチャンじゃない。「禁欲してからでないと、クリスチャンになれない」と思っている人は一生なれません。クリスチャンはできるだけ罪を犯さないようにしますが、それは禁欲というよりも、したくないんです。したくないのにしてしまうから、後で後悔して心が痛い。だから、悔い改めてやり直すんですよ。罪を犯したくない・罪を憎む性質は、キリストを受け入れた後で、新たに与えられる性質なんです。

このキリストにある歩みは、イエスを信じた後に与えられる聖霊を内側に宿した人でないと出来ません。聖霊が与えられていない状態で、「クリスチャン生活ができるかな」と思っても出来ません。ものには順番がある。最初に、まずキリストを受け入れる事。クリスチャンのような立派な生活をする…それは後。形だけではダメです。

